

# 盛岡市の未来

## ～市民とつくる 持続可能なまち～

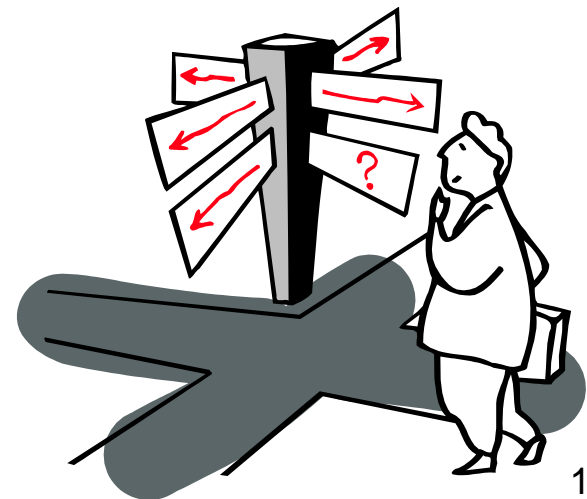
2024年2月17日

株式会社 日本政策投資銀行 地域調査部 特任顧問

株式会社 日本総合研究所 主席研究員

みきわめ ・ みとおす  
事実発見&構造把握業

もたに  
藻谷浩介 kosuke@motani.com



# 人口28万人の盛岡市。 もし独立国だったら、世界では？

× 小さすぎて国にはなれない

× 世界196ヶ国の中でブービー

③ もっと小さい国は20以上ある

岩手県より小さい国なら、40もありますよ。

それでもどの国も、国連に議席があり、国際問題に関しては自分の意見を表明します。

# ガラパゴス日本の国際競争

バブル最盛期の90年と、昨年(22年)を比べると日本の輸出額(兆円)は?

@財務省 国際収支状況

ヒント:

- ① 輸出は「(株)日本の売上」のようなものです
- ② 輸出は日本で生産され、税関を通過して海外に売られた商品の額で、99%が(ハイテク)工業製品です
- ③ 海外移転した工場の売上は、輸出に入らなくなります

× 半減以下

× 同水準

③ 倍増以上

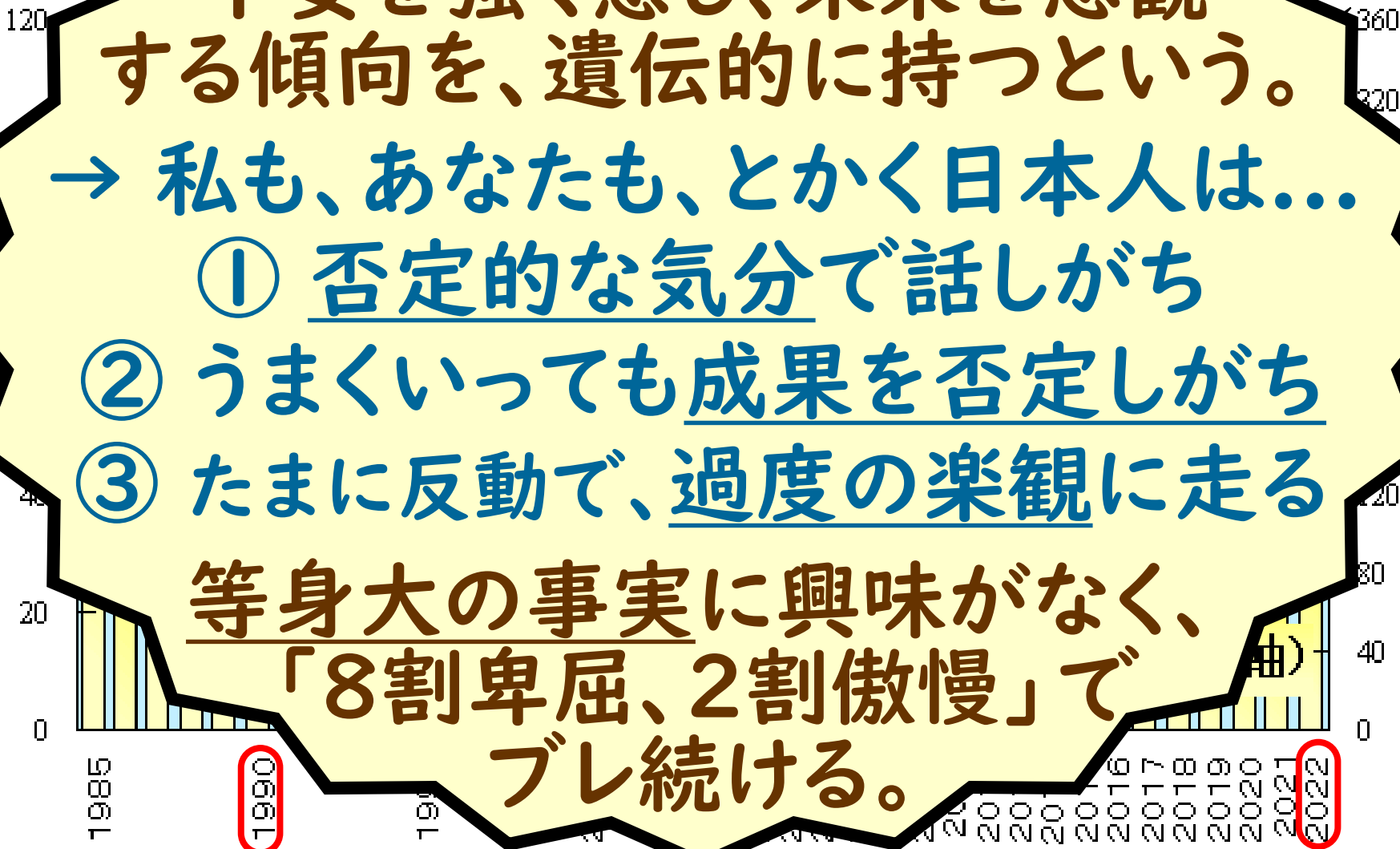
# 日本の精神が2.5倍

日本人の9割以上は、不安を強く感じ、未来を悲観する傾向を、遺伝的に持つという。

→ 私も、あなたも、とにかく日本人は...

- ① 否定的な気分で話しがち
- ② うまくいっても成果を否定しがち
- ③ たまに反動で、過度の楽観に走る

等身大の事実に興味がなく、「8割卑屈、2割傲慢」でブレ続ける。



**500年後の日本**

**500年後の盛岡市に**

**確実に残っている**

人のつくったもの

**人工物は何でしょう？**

**500年後の世界には  
建物も、橋も新幹線も  
5～10回は造り替え  
られたもののしか  
残っていません。**

500年後に残っているのは、

まずは500年経たないのです。

その  
道  
学

昭和どころか、  
もう平成も終わっている。  
世の中はすっかり変わった。  
でも頭の中は昭和のまま。  
大谷翔平が出ている時代に  
まだ自分は長嶋茂雄が一番…

「高層ビル好き」は昭和の妄想。

「世の常識」も昭和の惰性。ません。

令和の現実を学べ。

あなたは学べますか？

# ガラパゴス日本の国際競争②

## 日本が経常収支赤字の相手は？

—昨年(2022年) ©財務省国際収支状況

- ① 対 米国
- ② 対 中国 (+香港)
- ③ 対 韓国
- ④ 対 台湾
- ⑤ 対 ドイツ
- ⑥ 対 イタリア
- ⑦ 対 スイス

ちなみに、化石燃料産出国  
に対しては大赤字

対中東  $\Delta$ 14兆円

対豪州  $\Delta$ 7兆円

対インドネシア+マレーシア+  
ベトナムで $\Delta$ 4兆円



# ガラパゴス日本の国際競争②

## 日本が経常収支赤字の相手は？

—昨年(2022年) ©財務省国際収支状況

お得意様第1号  
日本の黒字は  
17兆円/年

米国

お得意様第5号  
日本の黒字は  
3.2兆円/年

中国(+香港)

黒字相手2位はシンガポール  
3位はオランダ  
4位は英国

お得意様第6号  
日本の黒字は  
2.8兆円/年

韓国

22年の日本の輸出は99兆円と史上最高  
→工業国には、機械・ハイテク部品・高機能  
素材(=BtoB製品)を売って、大黒字

お得意様第7号  
日本の黒字は  
2.3兆円/年

台湾

黒字相手8位はケイマン諸島  
9位はインド

お得意様第10号  
日本の黒字は  
1.4兆円/年

ドイツ

日本が  
常に  
赤字

対 イタリア

ブランド衣料品・工芸品・食加工品  
→ パスタとオリーブオイル

日本が  
常に  
赤字

対 スイス

薬品と手作り時計  
→ 最低月給が40万円以上

# ガラパゴス国際競争②

日本は、中韓台からも相手は？  
米英独からも儲け続けている。

そんな日本が貢ぐ相手の  
スイスとイタリアの特長は???

- ① 観光立国、手作りブランド立国
- ② 高い人件費、短い労働時間
- ③ 大都市がなく、農山漁村に  
経済力、競争力がある
- ④ 地元意識がとても強く  
食べ物は地産地消

対  
対

スイス

総人口8百万人

16千万人

お得意様第  
日本の黒  
17兆円

お得意  
日本の  
3.2兆

お得意  
日本の  
2.8兆

お得意  
日本の  
2.3兆

お得意様第  
日本の黒  
1.4兆円

国際収支状況

ポ  
ン  
ダ  
英  
国

最  
高  
機  
能  
大  
黒  
字

諸  
島  
イ  
ン  
ド

日本が  
常に  
赤字  
日本が  
常に  
赤字

40万円以上

仕事がない(失業率が高い)

年国勢調査

地元民は言います。  
「地元には仕事がない」と。

でも、盛岡市の失業率は、仙台より  
低く、東京ともそんなに違いません。

そもそも失業率3% = 「完全雇用」で  
それ以下は深刻な人手不足です。  
人手不足が深刻なのはむしろ過疎地。

⑥ では、「仕事がない」とは %  
どういうこと?

⑦ 下北半島 1.3%

働いている人の所得は  
どれくらいあるのか？

対象所得額

昭和どころか、  
もう平成も終わっている。  
世の中はすっかり変わった。  
でも頭の中は昭和のまま。  
大谷翔平が出ている時代に  
まだ自分は長嶋茂雄が一番...

「田舎は貧乏」は昭和の妄想。  
「若者上京」は昭和の惰性。  
令和の現実を学べ。

⑥

⑦

下北半島の所得

10万円

0

3

61

51

でも都会は若者が減っているし、  
田舎は若者が減っているし、

勘違いしてませんか、  
「都会は若者が減っている」と。

44歳

ところが実際には東京都でも仙台市でも、  
若者は減っています。人口増の滝沢も若者減。  
若者はどんどん流れ込んでいるのに、なぜ？

それは「地元生まれ」が減っているから。  
都会は田舎に比べて、とても出生率が低く、  
新たに15歳を超える地元生まれの子が  
45歳を超える人の半分もいません。

田舎の若者が消えた先には  
都会の若者も消えます。

⑤

⑥

⑦

津波被災地

下北半島の佐和田町

%

△28%

%

△14%

# でも田舎は一刻で、消滅 に向か

2018年

勘違いしてませんか、  
「田舎は高齢者が増加中」と。

ところが数えてみると、過疎地ではもう  
75歳以上の人の数は減り始めています。  
反対に都会では75歳以上がまだ急増中。

都会では、田舎から集まり続けた若者が  
続々75歳を越え、医療や介護がピンチ。  
しかも支える側の若者は減っています。

田舎ではもう、年寄りの成り手  
が足りず、医療介護の予算  
が減って行きます。

④

⑤

⑥

⑦

津波被害

下北半島の佐

の率

%

1%

0.2%

△11%

# でも田舎は減り過ぎて

2018年

乳幼児の増減

歳の率

勘違いしてませんか、  
「生き残るのは都会だ」と。

地価や家賃が高すぎる都会では  
どうしても子どもの数が増えません。  
都会に若者を集め続ければ、日本は消滅。

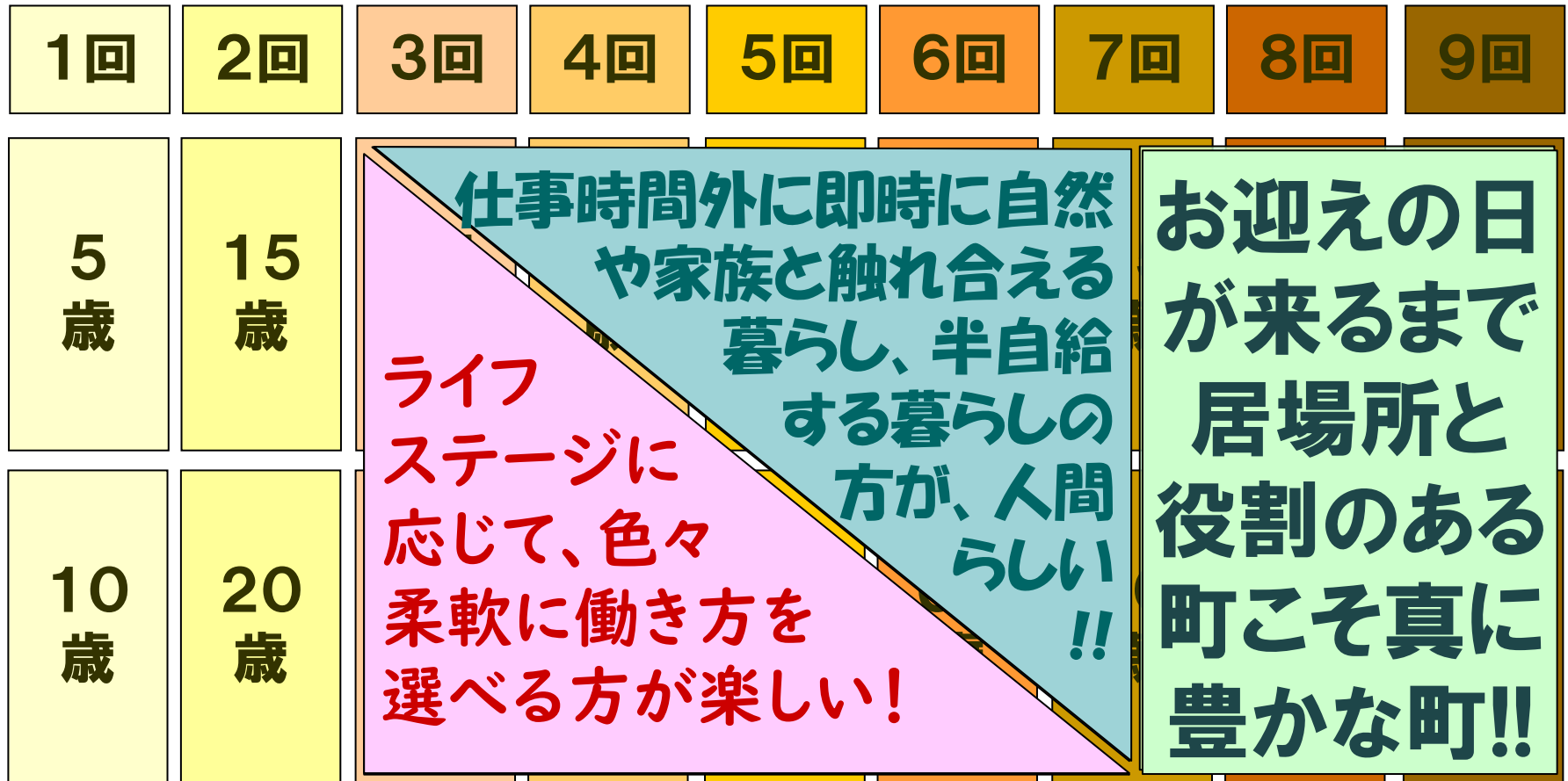
しかも都会では、田舎から集めたかつての若者が  
続々75歳を越え、医療や介護がピンチ。  
子育てに向ける余裕も乏しいのです。

- ④
- ⑤
- ⑥ 津波被害 +4%
- ⑦ 下北半島の佐 +7%

高齢者が先に減り始める田舎で  
乳幼児が増えていく場所が  
消えずに残ります。

増えずに子育て中

# 超高齢化社会の幸せとは？



進路指導の  
教師も、親も、  
ここまでしか  
考えていない

若く体力  
のあるうちに  
子育てすべき  
だったが、仕事  
で残業ばかり

持ち家と  
お受験教育  
“2つの無用”  
に無駄金を払う

退職後  
には  
収入も  
やること  
もない

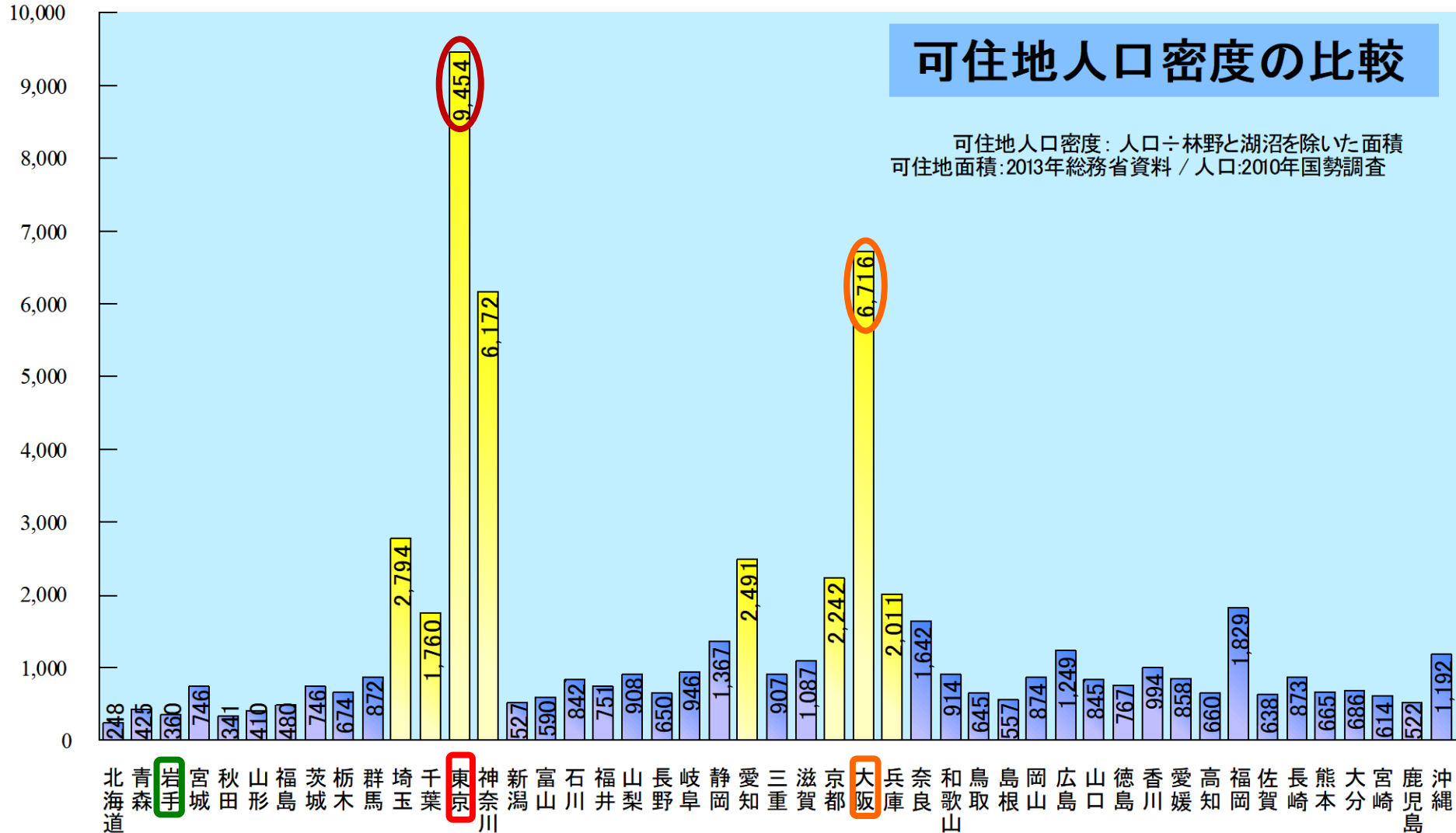
田舎暮らし  
のの方が  
仕事も収入  
もある!

延長戦に  
入る備えは  
あるか?



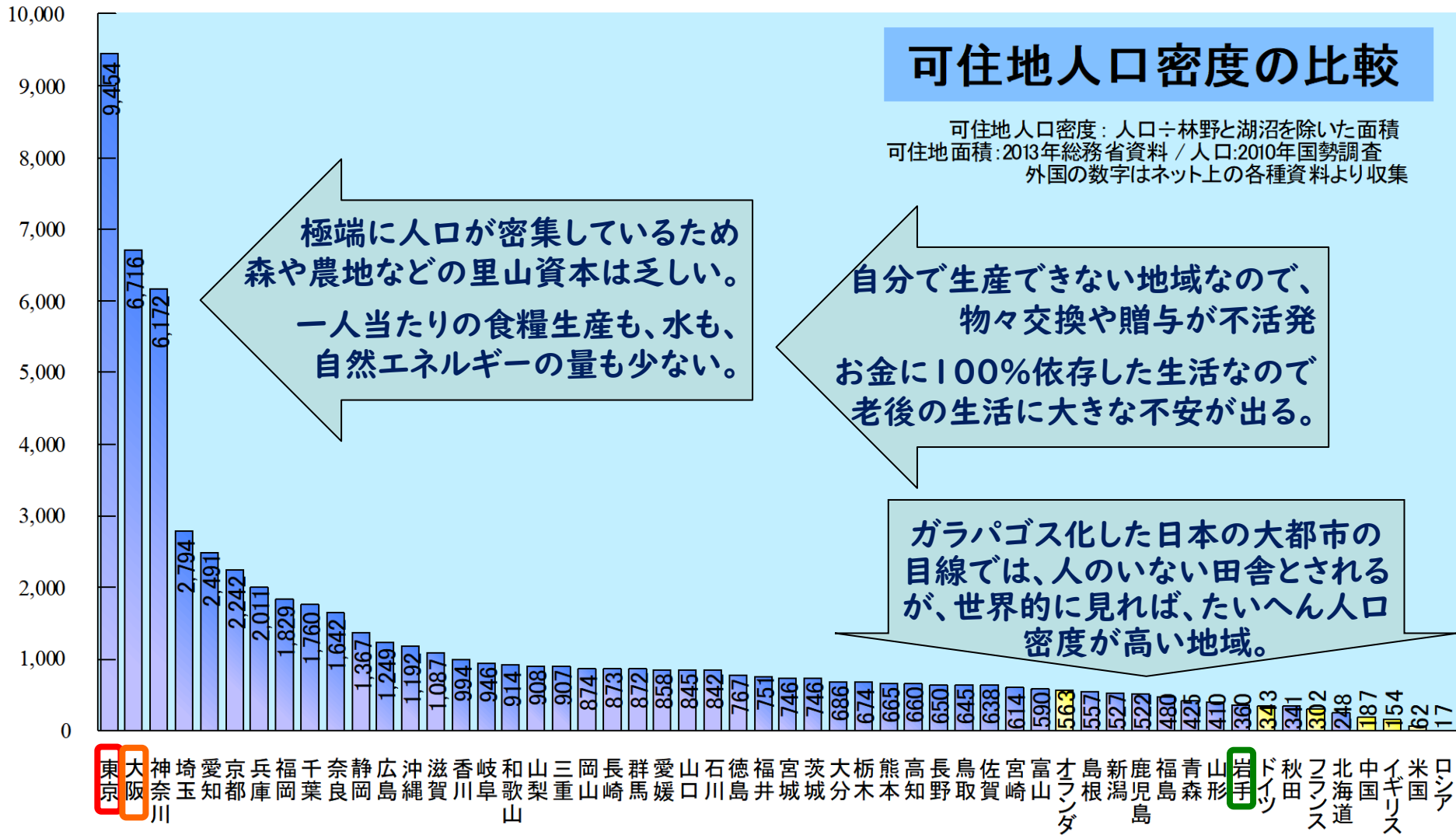
# 大都市圏に比べると とにかく人が少ない田舎...？

人／平方キロ



# 日本の大都市圏は 世界的に見れば 異常なレベルの人口“過密”地

人／平方キロ



## 可住地人口密度の比較

可住地人口密度：人口÷林野と湖沼を除いた面積  
 可住地面積：2013年総務省資料 / 人口：2010年国勢調査  
 外国の数字はネット上の各種資料より収集

極端に人口が密集しているため  
 森や農地などの里山資本は乏しい。  
 一人当たりの食糧生産も、水も、  
 自然エネルギーの量も少ない。

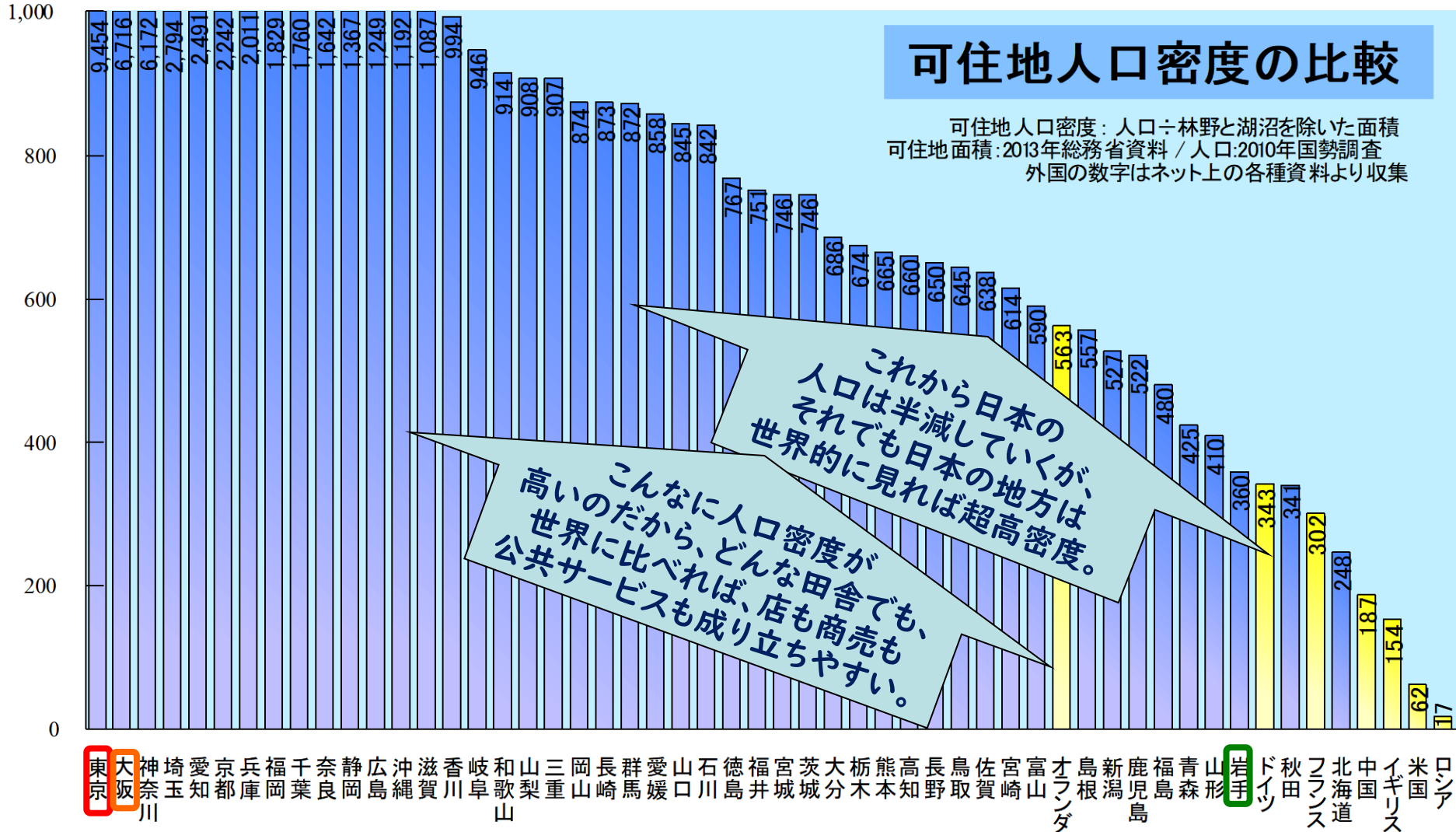
自分で生産できない地域なので、  
 物々交換や贈与が不活発  
 お金に100%依存した生活なので  
 老後の生活に大きな不安が出る。

ガラパゴス化した日本の大都市の  
 目線では、人のいない田舎とされる  
 が、世界的に見れば、たいへん人口  
 密度が高い地域。

# “過疎”は自然資本の豊かな“適疎”

## 日本の地方の県は、人口“適密”地帯

人／平方キロ



# エネルギー源でみた人類史五段階

## ① 狩猟採集時代 [石器時代～]

## ② 農耕時代 [弥生時代～]

- ← 太陽光を穀物に変え貯蔵するという技術革新で人口急増
- 貯蔵した穀物や農地を巡って戦争が起きるようになった

## ③ 工業時代-化石燃料前期 [戦後～]

- ← 化石燃料=太古の太陽光の濃縮物 で肉体労働を代替
- 人口が激増、しかし化石燃料は無尽蔵で、戦争は無用に
- 農耕従事者が激減、都会で書類を書く無産階級が激増

## ④ IT時代-化石燃料後期 [21世紀～]

- ← 頭脳労働もIT化され、生産に要する労働力が激減へ
- ← 地球環境の制約が明確になり、成長より継続が課題に

## ⑤ 里山資本主義時代-分散/小規模/連携の時代 [令和～]

- ← 再エネを小規模利用する技術が深化 / CO2排出は限界
- 都会を出て、田舎で“部分自給”する生活が有利に

# “バックキャストイング”で考える

- ① 自分が「こうしたい」と強く考える  
「未来の出来事」、「こうあって欲しい」と願う未来の社会を、心に描く
- ② 手持ちの手段や、現実的なステップから、順を踏んで考えることはしない
- ③ そこで思い描いた未来から逆に振り返って、そこに行くため何をするか、何をしないか、を決めていく
- ④ 新たな事態が起きた場合も、未来から振り返って、今の対応を決める

# “バックホウ”の実例

①

盛岡で満ち足りて暮らし、  
好きな時に都会や世界で遊ぶ、  
豊かな未来は、誰でも手にできる。

②

生活費の高い都会か、退屈な田舎か、  
二者択一を迫られるのはおかしい。  
日々ワクワクできる盛岡を自分で作ろう。

Iターン人材の活躍の場を増やし、  
若者を戻し、高齢者を移住させよう。

④

元気な若者と女性に走らせ  
陰から助けよう!

番外(藻谷)

③ 間違った選択をする組織や社会を減らす